

科目名称	成人看護Ⅴ（運動器、脳神経疾患患者の看護）	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期		25
担当教員	戎崎美紀 森明恵 宮西花枝 本多孝人 三野奈津子	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

運動器疾患対象の看護および二次的障害を予防する為の看護を学ぶ。

【2】学習目標

1. リハビリテーション看護の概念を説明することができる。
2. 運動器疾患患者の看護の特徴を理解できる。
3. 運動器疾患患者への援助方法を理解できる。
4. 脳神経疾患患者の看護の特徴を理解できる。

【3】ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
 - 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
 - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
 - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
- ☐ 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
 - ☐ 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
- ☐ 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
 - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	運動器疾患の看護の基本	講義
2	主な症状・検査に対する看護	講義
3	主な治療に対する看護	講義
4	主な疾患に対する看護 1	講義
5	主な疾患に対する看護 2	講義
6	脳神経疾患患者の看護の基本	講義
7	脳血管障害・パーキンソン病患者の看護	講義
8	ADL 機能向上のための援助	講義
9	高次脳機能障害患者の看護	講義
10	リハビリテーション看護概論	講義
11	リハビリテーション看護の実践	講義
12	運動器疾患、脳神経疾患患者の在宅療養	講義
13	試験	筆記試験

【5】評価方法

筆記試験

【6】教科書

大江 隆史他著「看護学入門 7 基礎看護Ⅲ（臨床看護概論特論：治療法概説）」第4版 メヂカルフレンド社 2023年

小林 寛伊監修「看護学入門9 成人看護Ⅱ（脳神経疾患患者の看護）」第4版 メヂカルフレンド社 2023年

小林 寛伊監修「看護学入門10 成人看護Ⅲ（骨・関節・筋疾患患者の看護）」第4版 メヂカルフレンド社 2023年

【7】参考書

なし

【8】受講生へのメッセージ